

ティーチング研修 カリキュラム

実施時間: 10:00-16:00

時間	概要	狙い
1	【指導育成の原理原則】 ◆常に意識しておくこと: 全体像・背景・意義・目的 ◆相手理解(個人ワーク、ペア共有) ◆成長ステージ ・成長ステージという考え方 ・意欲に対するサポート解説	指導育成手法の一つであるティーチングについて、スキルのみに集中することなく、適切な対応ができるようにするために、指導育成の原理原則、全体像を把握する
2	【ティーチングの理解】 ◆ティーチングとコーチングの違い ◆ティーチング意識ポイント①双方のストレス軽減 ◆ティーチング意識ポイント②迷わせない(個人ワーク、グループ共有) ◆意識ポイント③理解度確認 ◆現場・自身への落とし込み(個人ワーク)	指導育成手法の一つであるティーチングについて、スキルのみに集中することなく、適切な対応ができるようにするために、ティーチングの意識ポイントを確認する
3	【ティーチングスキル: 傾聴スキル】 ◆傾聴とは: ロジャーズの3原則 ◆3原則を邪魔する要素と意識ポイント ・ブロック、間、非言語コミュニケーション ◆傾聴技法	部下や後輩と信頼関係を築き、ティーチングを適切に行うために、ティーチングの基礎スキルとして傾聴のポイントを理解する
4	【ティーチングスキル: 伝えるスキル】 ◆伝え方で相手の行動は変わる ◆EQ(心の知能指数) ◆肯定表現 ◆ティーチング伝え方5ステップ ◆5ステップ実践(ペア・ロールプレイング) ◆現場・自身への落とし込み(個人ワーク)	ティーチングの最重要テーマ「分かりやすく伝えること」において効果を高めるために、考え方、スタンス、伝え方の手順を把握する。現場で実践するために、ロールプレイングで手順を体感し、流れをつかむとともに自身の課題を把握する
5	【ティーチングスキル: 質問スキル】 ◆質問の意義と種類 オープンクエスチョン、クローズドクエスチョン ◆質問の性質と育成目的の3ステップ ◆質問の役割1: 考えるトレーニング(個人ワーク、グループ共有) ◆質問の役割2: 視点切り替え、行動促進(個人ワーク、グループ共有) ◆過去置き換えワーク(個人ワーク、グループ共有)	自立自走を促すためのスキルとして有効な質問の意義や効果、性質を理解し、実践で育成につなげることができるように考え方の理解とトレーニングを行う